

## 令和4年度大田圏域地域医療構想調整会議関係者会議

(大田圏域地域保健医療対策会議医療介護連携部会) 議事概要

【日 時】令和5年3月1日(水)19時00分~20時00分

【開催方法】オンライン開催

【出席者】医師会、病院、歯科医師会、薬剤師会、市町、地域包括支援センター、老人福祉施設協議会、介護サービス事業者協議会、訪問看護ステーション  
計18名(保健所を除く)

### 【議事内容】

#### 1. 議 事

- (1) 大田圏域地域保健医療対策会議医療介護連携部会運営要領について
- (2) 圏域の病床機能の状況について
- (3) 公立病院経営強化プランの策定状況について

#### 2. 意見交換

#### 3. その他

### 【主な意見・協議結果】

#### 1. 議 事

- (1) 大田圏域地域保健医療対策会議医療介護連携部会運営要領について

大田圏域地域保健医療対策会議医療介護連携部会の構成員について、現状に合わせて変更。承認。

- (2) 圏域の病床機能の状況について

- ・地域医療構想、大田圏域の病床機能推移について

資料により説明。

- ・2025年に向けた医療需要の変化の状況を共有し、医療提供体制の構築の方向性を検討。
- ・高度急性期・急性期は他圏域との移動もあり、回復期・慢性期は患者の住所地に近いところで、を基本に県間、圏域間の流出入等も調整の上、策定。
- ・距離・交通手段等のアクセスの要素も踏まえて検討する必要あり。
- ・地域医療構想は策定がゴールではなく、策定後も進行管理を行い、適切な医療提供体制構築に向けて検討を重ねていくもの。
- ・病床機能の推移 平成28(2016)年度 647床→令和3(2021)年度 471床  
大田市立病院：療養病床を廃止し、現在は急性期と回復期のみ。構想策定時から110床↓  
加藤病院：新病院の建設予定。  
石東病院：構想策定以降、療養病床を廃止。

・地域医療構想策定後の動向について

各病院から資料により説明。

大田市立病院：新病院開院にあたり病床数を減らし、病床稼働率が高くなっている。

石東病院：介護医療院 稼働率 85%。これ以上増やすことは困難。

邑智病院：救急車の受入増。大田市から離れており地域完結の使命があり、総合診療を中心とした機能を維持強化。病床稼働率 90%前後。ベッド数 98 床必要。

加藤病院：病院移転 R5. 10 着工予定。介護医療院を新たに開設。訪問診療、ポストアキュート、サブアキュート機能の充実。従来医療療養病床で診ていたような病態の重い方も介護医療院で診ていくことは可能。

・加藤病院の移転新築工事の進捗状況については、今後（新年度）報告してもらう場を持つ。

(3) 公立病院経営強化プランの策定状況について

大田市立病院 資料により説明。

総務省の公立病院経営強化ガイドラインに基づき、現在の経営改善計画を包括した形で大田市立病院経営強化プランを策定。

期間：令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間

プランの基本方針：安定的な経営基盤を確立していくことを目指し、単年度資金収支が経常的に黒字になるように取り組んでいく。

市立病院の果たすべき役割における基本方針 6 項目（大田二次医療圏の中核病院として、5 疾病 5 事業を中心とした急性期医療の提供。病病・病診連携による圏域に必要な医療提供。地域で必要度の高い疾病に対する保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスの提供、等。）

経営指標に係る数値目標設定の考え方：外科・泌尿器科の医師増による手術増 850 人。分娩数は市の計画をもとに里帰り出産増を見込み 220 件。

邑智病院 令和 5 年度策定予定→次年度報告

2. 意見交換 特になし

3. その他

・次期（第 8 次）医療計画策定について

資料により説明。

現行の 5 疾病・5 事業及び在宅医療に加え、「新興感染症」を 6 事業目として追加現在の地域医療構想は 2025 年までの取組として進めているが、コロナ禍で浮かび上がってきた課題も踏まえブラッシュアップした上で、それ以降も取組を継続していく必要がある。